

1、被爆したアオギリ



2、広島市立高等女学校原爆慰霊碑



3、平和の塔



4、材木町跡碑



5、広島平和都市記念碑



6、被爆した墓石（慈仙寺跡の墓石）



7、韓国人原爆犠牲者慰霊碑



8、原爆供養塔



9、原爆の子の像



10、祈りの像

6. 成果報告

各中学校を代表して参加した15名の派遣生は、広島で学んだこと、感じたことを各学校・地域に伝えるため、下記のとおり報告会や発表を行いました。

東海中学校 小倉 文

【日時・場所】 平成31年2月18日 体育館

【方法・対象】 学習成果発表会 全校生徒・保護者・地域の方

【発表原稿抜粋】

友達や家族の人をはじめ、たくさんの人と話し合い、平和や、戦争をなくすための意見を共有していくことが大切だと思います。このスピーチが、戦争や平和について深く考えるきっかけになることを願っています。まずは今日、友達や家族の人と話し合ってみてください。



いま、私たちにできること

・戦争の歴史や、原子爆弾の恐ろしさについて正しい知識を得る。それを後生に伝承する。

・平和について、友達や家族の人たちと考え、話し合い、お互いの意見を共有する。

大崎中学校 桜井 瑠海

【日時・場所】 平成30年10月27日 体育館

【方法・対象】 学習報告会 全校生徒・保護者

【発表の内容】

広島で体験したことや、三日間のできごとを丁寧に説明し、その体験をして自分は何を思い、これからどうしていこうと思っているかを発表した。最後に自分がこれからも平和の大切さを伝えていくこと、そして聞いている皆さんにも平和について考えてもらいたいということを話した。



浜川中学校 二上 翔

【日時・場所】平成30年10月27日 体育館

【方法・対象】学習発表会 全校生徒

【発表原稿抜粋】

「核兵器は、地球からなくすべきだと思いますか」という質問に“はい”と答えた人は91人のうち79人でした。ここから、核兵器の廃絶を多くの人が望んでいることがわかりました。一方、「日本が核の傘に守られているから」という理由でこの課題に真剣に向き合い、“いいえ”と答えた人もいました。こうした姿勢は、核兵器の廃絶に向けての第一歩だと思います。私は核兵器が地球からなくなったらそれを軸としている核の傘もなくなると思います。



今の私たちがすべきこと

- ・一人一人が平和とは何かを深く考え、戦争や核兵器の必要性について考えること
- ・平和について学ぶために、資料を見たり、話を聞いたりするなど、実際に行動を起こすこと

次の世代に伝えていく

鈴ヶ森中学校 野村 春花

【日時・場所】平成30年10月27日 体育館

【方法・対象】文化祭 生徒・保護者・地域の方

【発表の内容】

◎1945年8月6日 午前8時15分 広島市

被害の状況、原爆の威力、
なぜ広島が選ばれたのか？

◎被爆者の講話

原爆投下直後の様子
講話の中で心に残った言葉
講話を聞いて感じたこと、思ったこと

◎平和式典への参列

参列を通じて心に残ったこと

◎平和資料館訪問

展示物（写真 含）の説明など



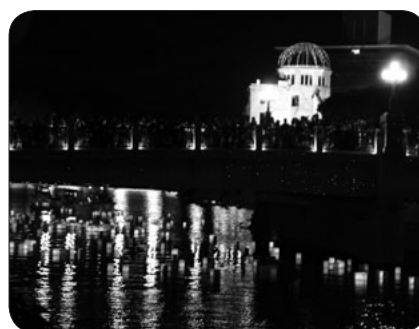
富士見台中学校 田中 凜

【日時・場所】平成30年10月26日 体育館

【方法・対象】文化祭 全生徒・保護者・地域の方等

【発表原稿抜粋】

原爆が落ちた過去があるから、今の日本がある。ということ、原爆を経験していない人が言うのは間違っている。経験していない人が、他人事のように言うのは、経験者からしてみれば苦である。「原爆反対、戦争反対」と言うことは簡単だが、原爆の恐ろしさは一言では表せない



荏原第一中学校 金子 耀平

【日時・場所】平成30年12月1日 体育館

【方法・対象】報告会 全校生徒

【発表の内容】

- ・ 広島平和使節派遣体験談
- ・ 3グループによる戦争体験者3名から聞いた戦争体験談
- ・ セルビア戦争体験談を受けてのそれぞれの感想
- ・ 第8学年平和学習有志一同による平和宣言
- ・ 同決意表明



荏原第五中学校 牧田 沢英

【日時・場所】平成30年10月27日 アリーナ

【方法・対象】報告会 全生徒・保護者・地域の方等
全生徒・保護者・地域の方等 約500名

【発表原稿抜粋】

世界中の一人一人が平和について考えるのは難しいことかもしれません。しかし、「戦争は二度と起こしてはいけない」という気持ちをそれぞれが持っただけでも平和につながります。私たちには、当たり前の日常を未来につなげる責任があります。一人一人の思いは集まれば大きな力になります。その思いを持つことは戦争を起こさないために必要なことだと考えます。

この言葉を聞いて

- 笑顔にするものをつくるか
恐ろしいものをつくるかは
自分の意識次第なのでは
ないかと思った。



平和についてできること

- 一人一人が
「戦争は二度と起こ
してはいけない」
という気持ちを持つ。



荏原第六中学校 住田 彩葉

【日時・場所】平成30年10月27日 体育館

【方法・対象】学習成果発表会 全校生徒・教員・保護者

【発表の内容】①・平和とはどんなものかを考え、人によって考え方が違うことを知る。
・戦争を詳しく知り、戦争を二度とやっではいけないことを再確認する。
⇒平和への第一歩になる

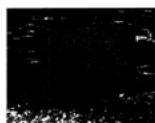
2, 被爆者講話

- 大隅 勝登さん
・工兵橋近くの路上で登校中に被爆。
・家族や親しい人たちが原爆で失った。
・放射能の影響で、今でも病気やがんによくかかっている。
・最近是我たちのような戦争を知らない人たちに、語り部として戦争の悲惨さを伝えている。

4, 碑めぐり講話

- 西岡 由紀夫さん
・母が17歳の時被爆し、西岡さんは被爆二世。

「原爆の子の像」



原爆で亡くなった高校生の慰霊碑



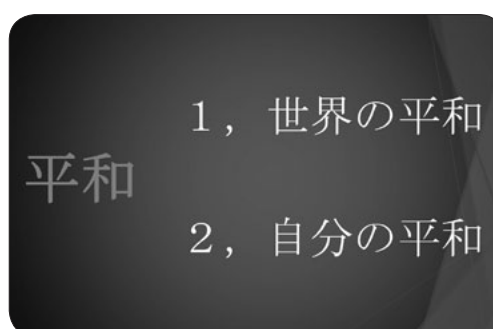
戸越台中学校 清水 結莉

【日時・場所】平成30年10月20日 体育館

【方法・対象】学習成果発表会 全校生徒 保護者

【発表原稿抜粋】

このままいくと後世に伝える人がいなくなってしまいます。だから、私たちが被爆者の思いを伝えていく必要があります。(中略) 73年前、日本は多くの人々を失いました。今もなお苦しんでいる人がいます。だからこそ私たちに出来ることを探してやっていくべきだと思いました。「私たちは無力ではないのです。」



日野学園 鈴木 茜

【日時・場所】平成30年10月27日 体育館

【方法・対象】報告会 生徒5～9年生 保護者

【発表原稿抜粋】

3日間の講話、資料館見学で学んだことから、相手の気持ちになって考え、相手の立場にたって想像することが「平和」であり、「平和」を築くことなのだ気付かされた。「平和」のために行動すれば必ず誰かに伝わる。無力だと思っていた私に勇気をくれた。「平和」とは、相手のことを思い、相手の立場になって考えること。そして、この「平和」の意味を多くの人に伝えていくことが、私たちが築ける平和なのだ、この3日間を通して強く感じた。先人たちが積み上げ、築きあげた平和な日本を次の世代、またその次の世代へと受け継いでいけるよう、現代に生きる自分たちのすべき役割をしっかりと考え行動するべきである。

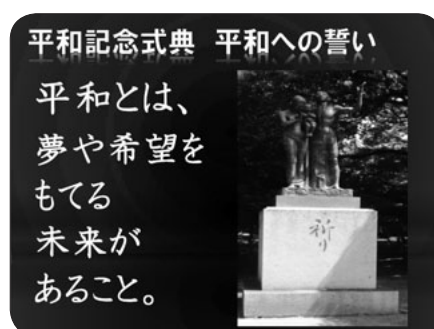
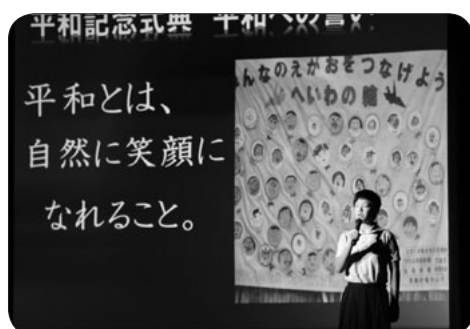


伊藤学園 鈴江 翠花

【日時・場所】平成30年10月26日 アリーナ

【方法・対象】報告会（学芸発表会） 生徒5～9年生 保護者

【発表の内容】①聴覚教材（パワーポイント）を使用し、被爆者講話や平和記念式典への参列、平和記念資料館などの見学など、今回の派遣を通し学んできた内容について報告をした。
②まとめとして、「平和への誓い」について報告した。



八潮学園 石 弥織

【日時・場所】平成30年10月27日 体育館

【方法・対象】報告会 児童生徒・先生・保護者・地域の方

【発表原稿抜粋】

毎年、8月6日に原爆ドーム前を流れる元安川で平和を願って行われる灯籠流しでは、たくさんの人々が平和への祈りを込めて、灯籠を流しました。この灯籠流しは、原爆により、命を落としてしまった方々のご冥福を祈るとともに、広く世界への平和のメッセージを発信し、恒久平和を祈願しています。



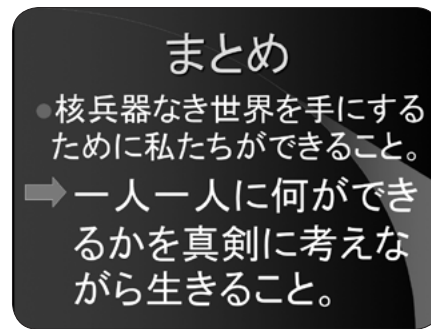
荏原平塚学園 麻生 和勇斗

【日時・場所】平成30年10月26日 アリーナ

【方法・対象】学習成果発表会 児童・生徒・保護者

【発表原稿抜粋】

僕は広島に行き、想像を絶する被害があったことに驚き、復興した姿を見て、また驚きました。原爆を作り、投下したのは人間です。しかし長崎や広島で被爆し、復興させたのも人間なのです。これだけのすさまじい力を持っているのです。だからこそ、誤った方向に使わないよう、よく考えなくてはならないと僕は思います。



品川学園 折原 羽海

【日時・場所】平成30年10月27日 アリーナ

【方法・対象】報告会 5～9年生・保護者

【発表原稿抜粋】

私は、広島平和使節派遣生として訪れてから改めて自分が幸せであることを感じました。それは、被爆者講話でお話をしてくださった大隅さんが当時食料も大してなかったり、家族がバラバラだったり、学校にも通えなかったりと教えてくださったからです。好きな物、美味しい物、温かい物が食べれたり、温かいお風呂に入れたり、ベッドで寝れたり、さりげない日常ですが、幸せなんだなと思いました。



豊葉の杜学園 山下 悠真

【日時・場所】平成30年10月27日 アリーナ

【方法・対象】学習成果発表会 5～9年生・保護者

【発表原稿抜粋】

私は戦争をなくすことで核もなくなっていると思っています。戦争がなければ核を持ったり、使ったりする必要がありません。戦争は利益を生むことはありません。たくさんの命が失われることはもちろん、それによって悲しむ人、祖国が戦場となって難民になって逃げる人などが多くなります。私は、みなさんにもどうしたら戦争がなくなるか考えてもらい、その先に核のない世界が実現できると思います。私は広島を訪れ、たくさんのことを学びました。このことは、いつまでも忘れず、周りの人に伝えていきたいです。

被爆者の大隅さんの話

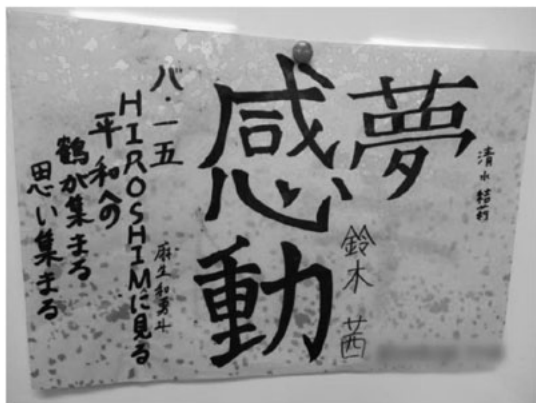
▶「アメリカや核を恨んでもしょうがない。今を大切に生きている。」
⇒大隅さんの人としての「強さ」を感じた

考えてほしいこと

▶どのようにして戦争がなくなり平和な世の中が訪れるか



< 8月6日（2日目）「灯ろう流し」派遣生が作製した灯ろう >



第2部

青少年長崎平和使節派遣



平和祈念像の前で

●派遣生（敬称略）

森川 里菜（中学生）

木村 彩花（高校生）

酒井 日向（中学生）

島根 みなみ（中学生）

安戸 乃彩（高校生）

●引率者

総務部総務課 豊田 敦子、田村 拓也

1. 行動日程表

第16回青少年長崎平和使節派遣 平成30年8月8日～10日(2泊3日)

8月8日(水)

時間	行動内容	場所
6:30	集合 JR・京急で羽田空港へ	JR大井町駅中央口
8:15	羽田空港発	羽田空港
10:05	長崎空港着 リムジンバスで長崎市内へ	長崎空港 大波止バス停
11:30	ホテル着	エスペリアホテル長崎
12:00～	昼食	平和公園近辺
13:00～(13:55)	★青少年ピースフォーラム受付	平和会館ホール
14:00～15:15	★開会行事(被爆体験講話など)	平和会館ホール
15:25～17:25	★参加型平和学習 (被爆建造物等のフィールドワーク)	原爆資料館周辺
17:45～18:15	「平和の灯」事業見学	平和公園入口～平和の泉周辺
19:00～	夕食・ホテル着	長崎市内・エスペリアホテル長崎
22:00	就寝	

8月9日(木)

時間	行動内容	場所
7:00	起床	
7:30	朝食	ホテル内レストラン
8:45	ホテル出発	エスペリアホテル長崎
9:15	平和公園着	平和公園
9:30～(9:45)	平和祈念式典開場・受付	平和公園
10:40～11:45	平和祈念式典参列(長崎市実施)	平和公園・平和祈念像前
12:00～	昼食	長崎ブリックホール国際会議場周辺
13:00～(13:25)	★平和学習受付	長崎ブリックホール国際会議場
13:30～15:30	★平和学習	長崎ブリックホール国際会議場
15:30～17:30	自主研修	長崎市内
17:30～	原爆資料館見学	原爆資料館他
19:00～	夕食・ホテル着	長崎市内・エスペリアホテル長崎
22:00	就寝	

8月10日(金)

時間	行動内容	場所
7:00	起床	
7:30	朝食	ホテル内レストラン
9:00	ホテル出発	エスペリアホテル長崎
9:00～14:30	自主研修・市内見学(昼食)	長崎市内
14:30	集合 リムジンバスで長崎空港へ	大波止バス停
17:05	長崎空港発	長崎空港
18:55	羽田空港着 京急・JRで大井町駅へ	羽田空港
19:40	解散	JR大井町駅中央口

★は青少年ピースフォーラム事業(長崎市が実施)

「青少年ピースフォーラム」とは？

毎年8月9日の平和祈念式典にあわせて、長崎市では、「青少年ピースフォーラム」を平成5年度から開催しています。「青少年ピースフォーラム」は、全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図ることを目的として実施しています。

このフォーラムでは、大学生や高校生などで構成される長崎市の「青少年ピースボランティア」が中心となり、平和学習の進行やフィールドワークの案内などを行っています。

2018年は「品川区青少年長崎平和使節」をはじめ、全国から36団体、401名もの青少年が参加し、ピースボランティアなどと交流を深めました。

日	時	内 容 <場 所>	
1日目 8/8 (水)	14:00 ～ 15:15	開会行事（被爆体験講話など）<平和会館ホール>	
	15:25 ～ 17:25	【コース別の平和学習】長崎原爆の実相について学びます。	
		Aコース 平和学習 <平和会館ホール> こじんまりフィールドワーク (屋外) <原爆資料館周辺>	Bコース コース別被爆建造物等の フィールドワーク (屋外) <原爆資料館周辺>
18:00 ～ 19:30	交流会（希望者） <長崎新聞文化ホール>		
2日目	午前	長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列<平和公園ほか> もしくは長崎市内学校での平和集会への参加	
8/9 (木)	13:30 ～ 15:30	【コース別の平和学習】平和について考えます。	
		≪Aコース≫ 平和学習 <平和会館ホール>	≪Bコース≫ 平和学習 <長崎ブリックホール国際会議場>

事前打ち合わせ会

派遣生が平和使節派遣事業の趣旨を理解し、それぞれが目的を持って長崎への派遣に臨めるよう、事前打ち合わせ会を2回実施しました。

打ち合わせ会では、参加者の自己紹介や参加への動機、非核平和都市品川宣言事業および青少年長崎平和使節派遣の目的についての説明、自主研修の検討等を行いました。

また、平和への願いを込めて長崎へ持って行く千羽鶴を全員で作成しました。

〈第1回〉 6月21日（木）午後6時～

- ・自己紹介
- ・参加動機の発表
- ・「非核平和都市品川宣言」事業の説明
- ・「青少年長崎平和使節派遣」の目的を説明



〈第2回〉 7月25日（水）午後6時～

- ・「平和の折り鶴」受領
- ・ピースフォーラム事業について説明
- ・自主研修計画表の提出
- ・スケジュールの最終確認
- ・自主研修の検討
- ・派遣報告書類の説明

事後報告会

8月29日（水）午後6時～

今回の平和使節派遣を通じて印象に残ったこと、学んだことなどを話し合いました。

また、来年度の事業運営に生かすため、感想・意見を発表してもらいました。



- ・派遣の感想、反省発表
- ・成果報告書について
- ・派遣修了証書および青少年ピースフォーラム修了証書授与

2. 長崎での主な活動

(1) 青少年ピースフォーラム開会行事（被爆体験講話）

〈日 時〉 8月8日（水） 14：00～15：15

〈場 所〉 平和会館ホール

〈内 容〉 開会式は青少年ピースボランティアが司会をつとめました。被爆体験講話では、4歳8ヵ月のときに爆心地より1.5kmの自宅近くの畑で被爆、両手、両足、腹を火傷し、足は3回の手術を受けた小峰秀孝さんのお話を聴講しました。



被爆体験講話
講師の小峰秀孝さん



青少年ピースボランティアによる合唱

<酒井 日向>

ずっとアメリカを憎み続けてきたのが、アメリカに行って被爆の講話をしたときに、アメリカの人達に泣いて「許してください」と言われ、アメリカの人々が悪いわけではなく「戦争」が悪いんだと改めて感じたとおっしゃっていたのが印象に残りました。

<木村 彩花>

小峰さんが被爆によって負った火傷のせいで、学校でいじめられたり、他の人から拒絶されたりということをご本人の口から聞かせていただき、一人一人の人生の重みをずしりと感じました。数えきれないような苦しみを経験しながらも、私達のために自分をさらけ出してお話を聞かせて下さっている小峰さんに、意志の強さを感じました。